



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

この事業は、日本財団の支援により
実施しています。



アスリート先生 学校派遣事業
Challengers Academy
実施レポート

港区立赤坂中学校
2023年2月27日（月）



赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ

チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2022」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれや経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」でのふれあいの中での学びが、子どもたちが今後国際社会に出て、人生を歩んでいくにあたり、活かせる資質や能力を育み、また、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

1. 実施概要（2022年度）

【事業名】 チャレンジャーズアカデミー

【主 催】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【支 援】 公益財団法人日本財団

【日 程】 2022年12月22日(木)、 2023年2月27日(月) 2日間

【実施校】 東京都港区立赤坂中学校(東京都港区赤坂9-2-3)

【目 的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくります。

【チャレンジャー先生】 松原良香先生（サッカー）
中川賀之先生（サッカー）

【実施クラス】 1年生(2クラス) 44名
2年生(1クラス) 42名
3年生(1クラス) 17名 合計：103名（4クラス）
※対象学年、クラスは学校からの希望を受け決定

【実施方法】 運動と講義の2コマ1セットの授業を、クラス単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらいます。
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらいます。
- アンケート・フィードバック 受講生にアンケートを回答してもらい、授業の効果を測定します。先生への質問や生徒へのアドバイスがあればフィードバックします。記念写真シートを受講生全員へ贈呈します。

2. 授業構成（運動の時間） ※50分

①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・自己紹介(名前、競技歴、今の活動など)
- ・今日の授業の目的を伝える



②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



③主運動（30分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声かけをする
- ※目標設定と作戦会議の時間を設ける



④まとめ（5分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



⑤挨拶・着替え（休み時間10分間）

※授業の最初や最後

- アスリート先生による競技のパフォーマンスを披露
- ⇒子どもたちに、世界で戦ったアスリートの凄さを知ってもらう



3. 授業構成（講義の時間） ※50分

① 自己紹介・自身の国際経験の話（30分）

自己紹介

- ・選手時代の写真やスライド、VTR映像があれば、用いて自己紹介
- ・簡単なプロフィールを配布または黒板に掲示
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



国際経験の話

以下のテーマのうち**最低2つ**を入れて話します。

- ◆ 海外に出たきっかけ、現地でどのようにコミュニケーションをとれるようになったのか
- ◆ 海外で遭遇した困難とは？それをどう乗り越えたか？
- ◆ 日本と海外の違い、海外でびっくりしたこと
- ◆ 海外を経験してよかったこと、どのような強みができたか
- ◆ 海外に出て感じた日本の良いところ、もっとこうの方が良いと思うところ

② グループワーク・発表（10分）

①で先生の話聞いたうえで、子どもたちが感じたことを話し合い、国際社会に出ること、語学の習得、将来の目標など、自身のことにあてはめ考えられるように気づきを与えることを目的とします。



グループに分かれ、それぞれ感じたことを出し合う(5分)

↓
各グループの代表者が話し合ったことをまとめ発表(5分)



③ 授業のまとめ（5分）

各グループの発表を受け、チャレンジャー先生が生徒へのメッセージ、アドバイスなど、この授業で一番伝えたかったことを最後に伝えます。



④ 記念撮影（5分）

4.授業レポート① 2年A組

【日程】2023年2月27日(月)

【チャレンジャー先生】中川 賀之 先生 (元プロサッカー選手)

運動の授業



先生の簡単な自己紹介と授業の目的を共有。スポーツを通して仲間と協力することや先生と生徒が打ち解けること、課題を解決しゴールを一緒に目指すこと、また、サッカーを楽しむことを確認。準備運動では、ボールを使っただるまさんが転んだをして盛り上がりました。



主運動① 対面「パス&コントロール」…先生のデモンストレーションでのアドバイスを重ね、みんな上達しました。
主運動② 4チームに分かれ、体育館全面を使い試合を実施。初心者も積極的にボールへ食らいつき、白熱した試合をみんなで楽しみました。試合終了後には、中川先生より総括として「仲間との協力」「目的の共有」を生徒へ伝えました。

講義の授業



高校制時代に行ったオランダ遠征の影響で、高校卒業後、海外でプロ選手になることを目指し、ポルトガルへ向かうもホームシックにより断念した苦い経験や、その後再度チャレンジし、スペイン、パルーを渡り歩きエクアドルでプロ選手として試合に出場するまでの行程を紹介。実際に言葉の通じない環境で、どのように現地の人に話しかけたのか、デモンストレーションをしながら説明してくださいました。



やっとエクアドルでプロデビューしたものの、初出場した試合ではゴールを決められず、チャンスも生かせず、散々な結果に。それでも、試合に出たいその熱い気持ちが、めげずに挑戦し続ける活力となり、プロ選手としてのキャリアを続けられたことを伝えました。生徒の皆さんは、失敗を重ねた経験を包み隠さず話す中川先生の話に、希望をもらえたようでした。

4.授業レポート① 3年A組

【日程】2023年2月27日(月)

【チャレンジャー先生】中川 賀之 先生 (元プロサッカー選手)

運動の授業



先生の簡単な自己紹介と授業の目的を共有。準備運動では、円になりサッカーボールを一齐に隣の人にパスするレクリエーションと、全員で横一列に並び、隣の人同士ボールを手で挟み一齐に運ぶレクリエーションの2つを実施しました。作戦タイムを設け、中川先生を中心にどうやったら上手くできるか意見を出し合い、最後にクリアすることができた際は、クラスが一つになり生徒からも喜びの声が出ました。



運動の授業の最後には、クラス全員で2チームに分かれ試合を行いました。3年生は男子生徒にサッカー経験者も多く、積極的にボールに食らいつく様子が多くみられました。女子生徒も負けじとボールを追いかけ、火花散る熱い戦いとなりました。

講義の授業



高校卒業後、海外でプロ選手になることを目指し、言葉の通じないポルトガルへひとり向かうも、ホームシックにより1か月で断念し帰国したときや、その後再度海外へチャレンジする気持ちにどのようになったのかなど、挫折を乗り越えエクアドルでプロデビューするまでの話を聞き、生徒の皆さんは中川先生のポジティブ思考やチャレンジ精神に感嘆していました。



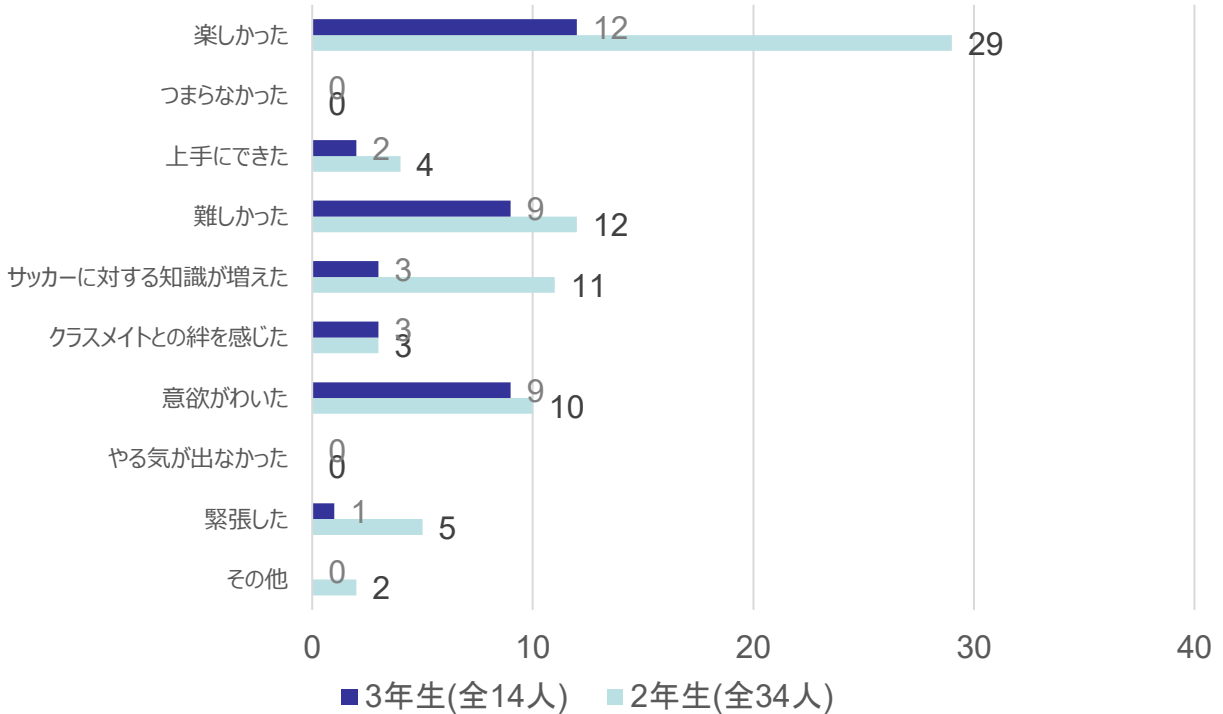
生徒一人ずつにスペイン語で語りかけ、ポルトガルやスペイン、南米を渡り歩いた当手を再現。日本語の通じない国で、どのように現地の人とコミュニケーションをとれるようになったのか。それは、公園でサッカーボールを蹴っていたら、現地の人と一緒にボールを蹴るようになり、サッカーを通じて言葉を少しずつ覚えていったそう。きっかけさえあれば、語学は誰でも身に付けられるそうです。

5. 受講者アンケートの結果①

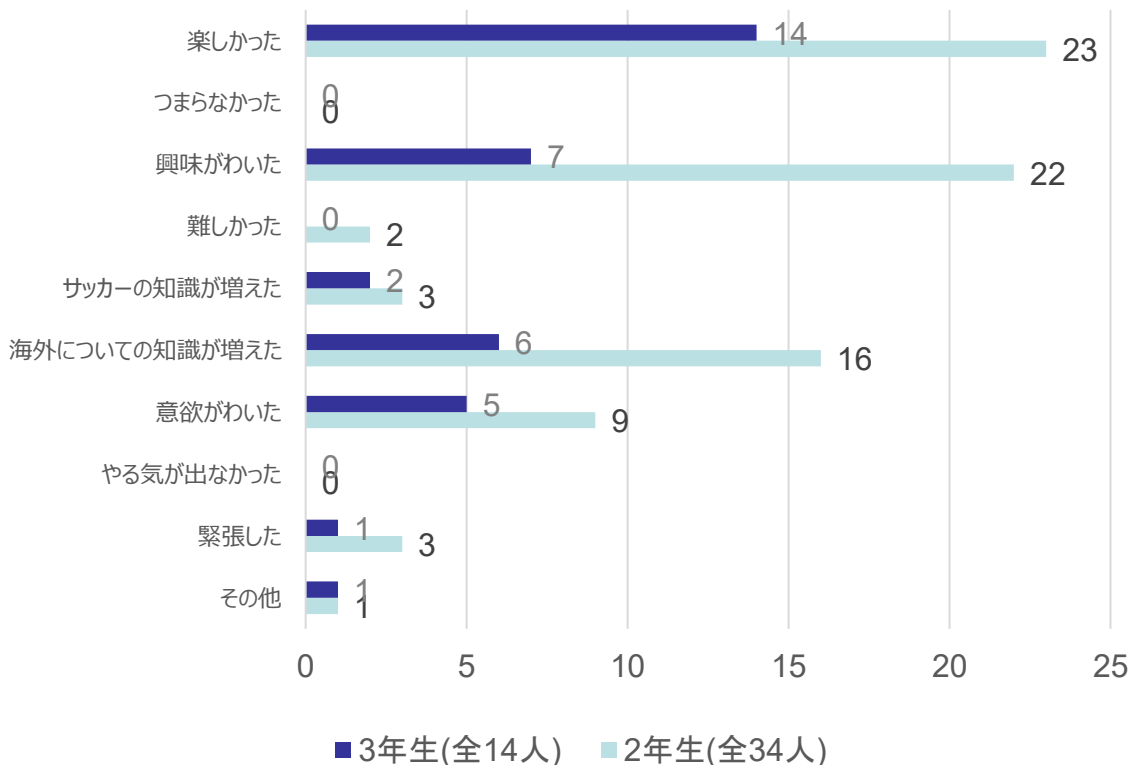


回答者 2年生：34名、3年生：14名

Q1 サッカーの授業の感想（複数回答可） ※必須回答



Q2 教室での講義の授業の感想（複数回答可） ※必須回答

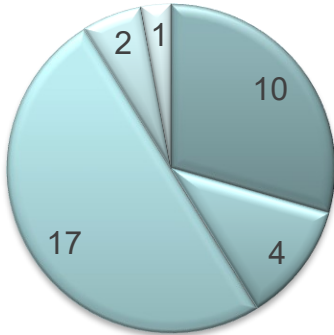


5. 受講者アンケートの結果②

回答者 2年生：34名、3年生：14名

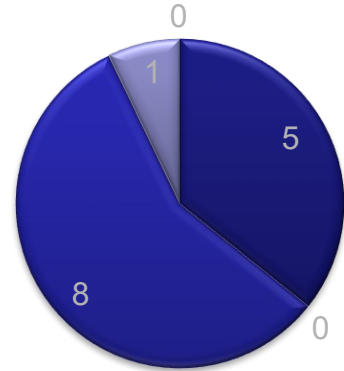
Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答

2年生



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

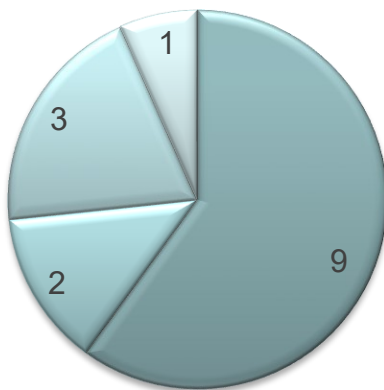
3年生



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

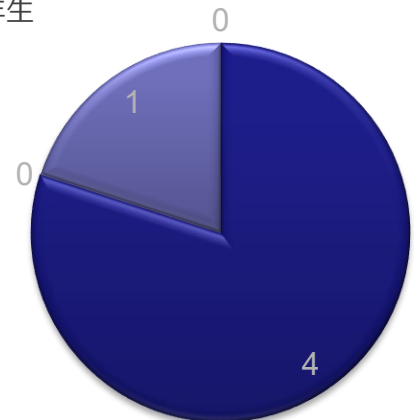
Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。

2年生



- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

3年生

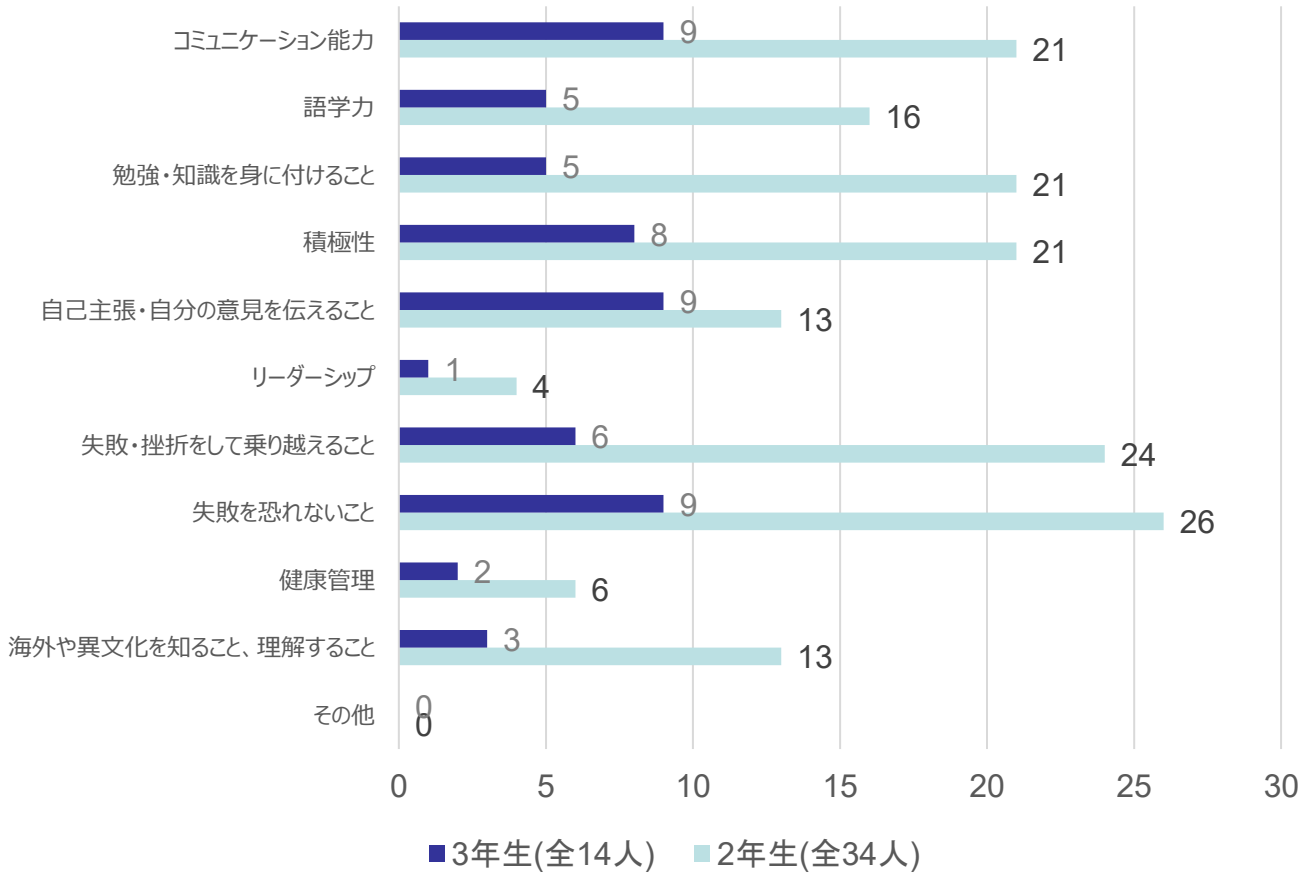


- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

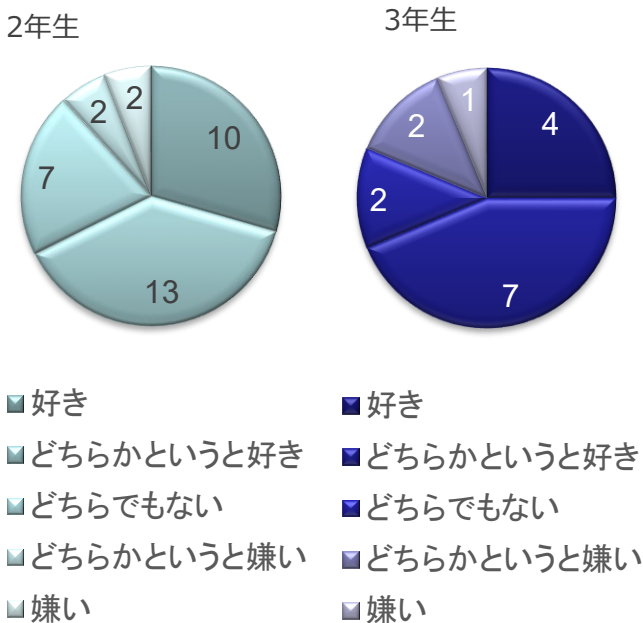
5. 受講者アンケートの結果③

回答者 2年生：34名、3年生：14名

Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答



Q6 スポーツは好きですか?



Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?



5. 受講者アンケートの結果④



Q8 中川先生へメッセージ（2年生：一部抜粋）

僕も今やってみようと思っていたことがあって、その前にもいろいろなことをして、失敗ばかりだったので、不安だったけど、頑張ろうと思えました。とても面白い授業でした、ありがとうございました。

自分はまだチャレンジするものが見つかっていないが、これから見つけて中川先生のように失敗をしてもそこから学びを得て、チャレンジしていきたいと思いました。

忙しい中、私達のために時間を割いてくださりありがとうございました。

これから、受験という大きな挑戦をする私達にとって失敗の先に必ず輝く未来はなくとも得られる未来があるという言葉はとても胸に刺さりました。本当にありがとうございました。

講義を受け、諦めない気持ちやチャレンジすることの大切さを学び、とても勉強になりました。

貴重なお話ありがとうございました。もし次があるのなら海外での生活について聞いてみたいです。

今回、色々なお話をしてくださりありがとうございました。私はコミュニケーションを取るのが大好きで、日本語を喋れる人とだけではなく、英語や他の言語、手話などを使う人とも話せるよう、毎日少しずつ勉強しています。まだまだどれも相手からしたらかなり拙いものですが、カズウ先生の話聞いて、うまく使えるかな、どうしようと渋っていないで、失敗を恐れず使っていき、どんどん自分の知識を増やしていきたいなと思います。今回のお話でとても自信ができました本当にありがとうございました！

スポーツに対する熱意と海外で挑戦しようとする姿勢がとてもカッコよかったです

中川先生の話聞いて失敗を恐れずチャレンジをするということを教えてもらったので将来社会に出た時には失敗をしてチャレンジしていきたいです。

僕は、外国人の人と、英語を生活で話させてもらう機会があったのですが、その際あまり英語に自信がなく、思ったことがあっても英語で喋りかけることが、少ししかできませんでした。ですが、先生の話聞いて、言語を完璧に習得してからするよりも、失敗を恐れず積極的にすることが重要だということがわかりました。ありがとうございました。

1人で言葉もわからない外国に行くなんて本当に怖かったと思うけど、そんな経験も生き方の軸になるんだなと思いました。

この度は授業ありがとうございました。

僕には将来の夢があり、その夢の職業は今、世界で活躍することも増えてきました。(つい先日もある賞を日本初で獲っていました)自分がその職に就くことができれば、日本国内だけでなく世界にも目を向けていきたいと思いました。

また、留学も考えているので、その際に外国に行って困ることがないように、しっかりと言語を学んでおきたいと思いました。チャレンジを繰り返して目標に近づいていこうと思います。

中山先生の話聞いて、やはり自分で動く事で未来が変わるかもしれない、コミュニケーション能力が大切だと言うことが改めて理解しました。貴重な体験が出来ました。この度はありがとうございました。

中川先生が仰っていた失敗と挑戦はいつも一緒だということが、先生の実験の経験談を通してとても理解ができました。

私も将来やりたい仕事があるので、今のうちに当たって砕ける精神でさまざまなことにチャレンジしてみたいと思います！

外国語に興味が増えました

何事も、恐れずに挑戦することが大事だと知ることが出来ました。

挑戦するにも、やはり言葉の壁は大きくて、きちんと知識を得ることも同じくらい大切だとも感じました。

サッカーに対する知識も、正直に言うと興味もあまりありませんでしたが、とても楽しめ、また、とてもためになり、サッカーに対する興味も湧いてきました。

今度、サッカーの試合をみてみたいと思います！素敵な時間をありがとうございました。

5. 受講者アンケートの結果⑤



Q8 中川先生へメッセージ (3年生：一部抜粋)

貴重な講義ありがとうございました。

ずっとチャレンジをし続けていてすごいなと思いました
私もチャレンジ！！！！していきます

「チャレンジ」し続けることによってチャンスは訪れるということを教えてくださいありがとうございました。

サッカーに対する熱量が凄かった。自分も見習いたいと思った。

スラム街に住んでまで、夢を追いかける姿はとても印象に残りました！
challenge!が大切です

忙しい中、私たちのために授業をしてくださり、ありがとうございました。
私は周りの目や失敗を極度に恐れてしまいます。
しかし、中川先生の話聞いて、「頑張ってみよう」と思いました。

今回の先生の授業でクラス内での絆が深まったように感じられました。
また、語学力や失敗の大切さを学び取ることができました。
忙しいところ赤坂中学校まで足を運び、授業していただきありがとうございました。

本日はありがとうございました。
夢を追い求めるため、様々な環境でチャレンジされる姿はとてりスペクトします！

今日は私たちのために楽しい授業を設けていただきありがとうございました。この授業で教わったことを近い将来活かすことのできるよう努力したいと思います。

チャレンジ精神に憧れる

必ず中川先生のように諦めずに夢に突き進んでいきます！そして夢を叶えます！！！！



この事業は、日本財団の支援により実施しています。



LIFE IS A CHALLENGE!!

世界を舞台にチャレンジしよう!!

赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ